

R4 学校評価自己診断について（分析）

【R4 回答率について】

保護者 26%（47 ポイントダウン）で大幅に下がってしまった。

教職員 63%（37 ポイントダウン）で大幅に下がってしまった。

アンケート用紙での回答から QR コードを読み取って回答する WEB アンケートへ移行した。回答方法の変更が回答率低下の要因であると考えられる。次年度、回答率アップをめざし、アンケートに取り組みやすくなるような工夫が必要である。

【保護者の回答について】

- ・今年度、部門を分けてアンケート回収ができていなかったため、両部門あわせての回答となった。次年度は部門別でアンケートに取り組む。
- ・総合的に本校の学校の取り組みに対して理解してくださり、概ね好意的に評価してくださっていることが推察された。
- ・学校施設、進路指導と防災・安全教育の項目について肯定的回答が低い。
- ・学校施設については老朽化によりプールが使用できなかったことが大きな要因と推察される。次年度、肢体不自由教育部門校舎とプール施設において大規模改修工事の計画が進めている。今後も施設改修に向けて、教育庁と連携してさらに進めていきたい。
- ・進路指導については、「わからない」という回答が19.2%あることから、進路指導の説明が保護者の思いに十分届いていない部分があると考えられる。進路説明会の内容の見直しに取り組んでいるが、参加者をどう増やし、ニーズに応じた内容への改善が今後の課題である。また、日常的な担任と保護者とのやりとりにおいても、進路に向けてのイメージを共有しあいたい。
- ・防災・安全教育について18.3%が「わからない」との回答である。学校の取り組みについて保護者に十分理解していただき被災時に連携できる体制を整える必要があるため、情報発信に一層力を入れていきたい。

【教職員の回答について】

- ・今年度、部門を分けてアンケート回収ができていなかったため、両部門あわせての回答となった。次年度は部門別でアンケートに取り組む。
- ・肯定的回答は「教職員の情報共有」「家庭との連携」「保護者へ周知するための情報発信」といった連携にかかわることや、「生命を大切に作る心やルールを守る態度の育成」「人権尊重の意識を育てる」「学校行事の工夫、改善」といった項目が90%以上と高くなっている。しかし、保護者アンケートでは学校の取り組みが「わからない」の割合が2割近くある回答もみられる。学校としての認識をかえ、取り組みが十分伝わっていない部分の改善に取り組む。
- ・「系統的なキャリア教育」「支援教育のセンター校的役割」「校内人事や校務分掌の配置」「快適な職場環境」「施設整備の点検・管理」「経験の少ない教職員の育成」において肯定的回答が低かった。
- ・系統的なキャリア教育については本校にあるキャリアプランニングマトリックスが十分活用されていないことが要因であると推察される。
- ・支援教育のセンター校的役割については毎年実績を積み上げているものの校内でうまくフィードバックされていないことが要因と推察される。校内で連携できる仕組みや体制を検討していきたい。
- ・校内人事や校務分掌の配置、快適な職場環境、経験の少ない教職員の育成については働き方改革を進めることが基本と考えている。時間外における勤務時間が昨年度よりも増加しており、長時間勤務者もいることから、本校の業務を大きく見直し、積極的な働き方改革を進めていきたい。
- ・「施設整備の点検・管理」については保護者アンケートと同様、教育庁と連携して取り組んでいく。